

在住外国人及び留学生を対象とした生活状況等の調査結果について

在住外国人に対する総合的・効果的な多文化共生施策検討の基礎データとするとともに、岡山県外国人材等支援推進計画の策定に活用するため、在住外国人の生活状況及び外国人留学生の進路等に関する意識について調査し、その結果を取りまとめた。

1 調査の方法

項 目	在住外国人生活状況調査	留学生の進路等に関する意識調査
調査対象	在住外国人（18 歳以上、特別永住者除く）のうち、市町村ごとに一定割合で無作為抽出した 3,000 人	外国人留学生を受け入れている大学、専門学校、日本語学校等に在籍する外国人留学生約 4,000 人
調査方法	Web 回答（10 言語対応）	Web 回答（やさしい日本語、英語）
調査期間	令和 7 年 5 月 30 日～6 月 20 日	令和 7 年 6 月 30 日～7 月 18 日
調査項目	日本語能力、仕事、子育て・教育、日常生活、困りごと等 計 66 問	学校、日本語能力、卒業後の進路、アルバイト等 計 52 問
回 答 数 (回答率)	1,340 件 (46.1%)	645 件 (16.1%)
過去調査	平成 21 年度、平成 29 年度に実施	今回初めて実施

2 調査結果の概要

(1) 岡山県在住外国人生活状況調査

ア 基本属性について (P3～8)

(n=1,340)

①性別	男 49.2%	女 49.6%	答えたくない 1.2%			
②年齢	20 代以下 48.4%	30 代 28.8%	40 代 11.5%	50 代 7.0%	60 代 3.0%	70 代以上 1.3%
③国籍	ベトナム 35.0%	中国 16.9%	インドネシア 13.8%	フィリピン 9.2%	ミャンマー 6.6%	その他 18.5%
④在留資格	技能実習 29.0%	永住者 17.8%	特定技能 17.1%	技人国(※) 11.8%	留学 9.6%	その他 14.7%
⑤県内在住期間	4 年未満 53.7%	4～5 年 13.8%	6～10 年 13.8%	11～20 年 10.1%	20 年以上 8.7%	
⑥居住市町村	岡山市 42.5%	倉敷市 20.4%	総社市 4.8%	高梁市 3.0%	瀬戸内市 3.0%	その他 26.3%

※技術・人文知識・国際業務の略

イ 日本語能力について (P9～17)

日常会話レベル以上の日本語能力がある割合は、5割弱となっている。また、現在、日本語を勉強していない割合は約3割であり、理由としては、「勉強する時間がない」が最も多く、次いで「近くに日本語教室がない」「どこで勉強できるか分からない」の順となっている。

【日本語を勉強していない理由(主なもの)】(P16) (n=404)

勉強する時間がない	近くに日本語教室がない	どこで勉強できるか分からない	日本語が難しい
44.3%	24.5%	24.3%	24.0%

ウ 日常生活について (P48～56)

【①生活情報の入手先(主なもの)】(P48) (n=1,340)

母国語または英語のwebサイト	同じ国籍の友達・知り合い	母国語または英語のSNS	母国語または英語の新聞、雑誌、テレビ
39.0%	32.3%	28.9%	27.8%

【②遠方への移動手段(主なもの)】(P55) (n=1,340)

電車	自転車	バス	自家用車
61.9%	48.6%	39.1%	31.6%

エ 困りごとや地域社会との関わりについて (P57～71)

普段の生活での困りごとについて、多く回答があったのは、「お金のこと」(31.5%)、「言葉が分からないこと」(30.5%)、「仕事のこと」(20.2%)、「習慣、文化の違い」(16.7%)となっており、言葉や習慣、文化の違いは、地域トラブルの原因としても上位に挙げられている。

【①地域でのトラブルの原因(主なもの)】(P59) (n=1,340)

日本人が外国人の生活習慣や文化に理解がない	お互いに言葉が通じない	外国人が日本の習慣や決まりを理解していない	お互いにコミュニケーションをとらない
4.2%	3.7%	3.1%	3.1%

※地域でトラブルの経験ありと回答した19.0%の内数

【②共生のために必要なこと(主なもの)】(P65) (n=1, 340)

日本語を勉強したり、子どもが勉強するチャンスを増やしてほしい	外国人をもっと雇ってほしい、良い環境で働けるようにしてほしい	外国人への理解を深めてほしい	外国語の生活情報の種類を増やしてほしい
30.2%	26.2%	25.8%	21.4%

オ 行政、支援団体のサービスについて (P72～78)

県運営のものも含め、行政が運営する web サイト等の認知度は低い。

また、行政等から欲しい情報では、「就職や仕事」(28.4%)、「税金や年金」(26.3%)、「日本語学習」(19.7%)、「相談窓口」(17.5%)が上位となっております。

【行政等が運営する web サイト等の認識(主なもの)】(P72) (n=1, 340)

知っているものはない	外国人生活支援ポータルサイト(法務省)	岡山県 web サイト	岡山県外国人相談センターweb サイト
65.5%	11.6%	6.6%	6.4%

カ 岡山県での生活について (P79～86)

【①岡山県に住もうと思った理由(主なもの)】(P79) (n=1, 340)

災害が少ない	働きたい会社があった	家族、親戚、友達が住んでいた	東京や大阪などの大都市より物価が安い
33.7%	32.2%	24.2%	16.2%

【②岡山県が外国人から選ばれるために必要なこと(主なもの)】(P83)

(n=1, 340)

外国人が働きやすい企業の紹介	外国人の労働条件の改善	日本語学習の場所や方法の充実	多言語相談での相談や情報提供の充実
40.2%	39.9%	30.2%	26.8%

(2) 岡山県留学生の進路等に関する意識調査

ア 基本属性について (P3~7)

(n=645)

①性別	男 50.1%		女 48.5%		答えたくない 1.4%	
②年齢	20 歳以下 18.8%	21~22 歳 20.9%	23~24 歳 19.7%	25~26 歳 16.1%	27~29 歳 10.4%	30 歳以上 14.1%
③国籍	ミャンマー 29.1%	中国 27.1%	ベトナム 13.2%	ネパール 10.9%	バングラデシュ 5.1%	その他 14.6%
④居住市町村	岡山市 89.1%		倉敷市 7.4%		その他 3.5%	

イ 学校について (P8~18)

【①留学先を選ぶときに見聞きした情報(主なもの)】(P12) (n=645)

自分の国の学校の先生	留学したことのある友達、知り合い	インターネット	家族、親戚
38.8%	29.1%	24.8%	19.1%

【②留学先を選ぶときに重要なこと(主なもの)】(P14) (n=645)

勉強したいことが学べる	卒業後の就職先が多い	奨学金がもらえる	有名な学校である
62.9%	41.6%	27.9%	20.6%

ウ 卒業後の進路について (P27~34)

5割弱が「日本で働きたい」と回答している。そのうち「県内で働きたい」は約3割だが、5割弱が「どちらでもいい」と回答している。

【①働く会社を選ぶときに必要なサポート(主なもの)】(P31) (n=300)

就職活動のスケジュールやルールを知りたい	留学生の採用に積極的な会社を知りたい	仕事で使う日本語を知りたい	日本のビジネスマナーを知りたい
41.7%	40.3%	33.7%	33.0%

【②岡山県内で働きたい理由(主なもの)】(P33) (n=97)

岡山県は生活しやすい	災害が少ない	働きたい会社がある	県内に家族や友達がいます
69.1%	34.0%	32.0%	26.8%